

令和2年高島市教育委員会第10回定例会

【 会 議 録 】

令和2年10月26日

令和2年高島市教育委員会第10回定例会会議録目次

(令和2年10月26日)

出席委員・出席事務局職員.....	1
提出議案の題目	1
議事日程	2

令和2年高島市教育委員会第10回定例会会議録	
招集年月日	令和2年10月26日
招集の場所	高島市役所 新館2階 教育委員会室
開会	午後1時30分
教育長	上原 重治
教育委員会委員	小多 偕裕 三矢 艶子 田邊 栄美子
教育委員会事務局職員	教育総務部長 田谷 伸雄 教育指導部長 川島 浩之 教育総務次長 (社会教育課課長事務取扱) 饗庭 眞二 (高島市民会館館長事務取扱) 山本 純子 教育総務課長 加藤 勝己 文化財課長 松田 邦幸 市民スポーツ課長 竹井 正人 国民スポーツ大会開催準備室長 野崎 良樹 図書館長 玉木 健史 学校教育課長 村田 秀俊 学事施設課長 辻 信孝 学校給食課長 長瀬 千恵美 教育総務課参事 上原 真哉 教育総務課主事 末綱 美都
提出議案の題目	なし
委員提出議案の題目	なし
会議録署名委員	本定例会の会議録署名委員は次の委員とした。 小多 偕裕 委員 田邊 栄美子 委員
閉会	午後1時57分

議事日程

令和2年10月26日(月)

午後1時30分 開会

第1 開会(挨拶)

第2 令和2年第9回定例会会議録の承認

第3 会議録署名委員の指名

第4 報告事項

報告第19号 第79回国民スポーツ大会の開催内定について

報告第20号 市内小学校の校外行事(サイクリング)における事故の概要について

第5 今後の日程

議 事 の 経 過

開 会 (午後1時30分)

(加藤教育総務課長)

それでは、定刻となりましたので、ただいまから令和2年高島市教育委員会第10回定例会を始めます。開会にあたりまして、上原教育長からご挨拶をいただいた後、議事日程により会議の進行をお願いいたします。

(上原教育長)

改めまして、みなさん、こんにちは。

秋も一段と深まり、朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。日増しに、日中の時間が短くなっていくことが実感できる今日この頃です。あとわずかです。10月も終え、今年も2か月を残すのみとなりました。

さて、去る18日日曜日には、教育委員の皆さまにもご案内いたしましたように、高島高校・安曇川高校の合同説明会が県教育委員会の主催で実施されました。午前の部、午後の部ともほぼ定員いっぱい、中学生や保護者、地域の皆さんの関心の高さを物語っていたように感じます。県教育委員会からの説明ののち、高島高校、安曇川高校から熱のこもった説明がありました。高島高校に新設される文理探究科と安曇川高校の総合学科に新設されるライフサポート系列を中心に、両校の目指す高校像が伝わってきました。すでに、高島高校は普通科4学級と文理探究科が1学級、安曇川高校は総合学科3学級と定員が発表になりましたが、これまでから、教育委員会では、高島高校、安曇川高校両校の校長先生と、市内中学校の校長先生との間で、意見交換の機会をもっており、本市の子どもたちのキャリア形成や将来の地域振興につながる高校の魅力化が実現しますよう、教育委員会としても、引き続き支援してまいりたいと考えております。

話は変わりますが、滋賀県では、新型コロナウイルスの影響を受けて、学校の休業中や再開後の子どもたちの心境や伝えたいことなどを聞くアンケートを実施され、コロナ禍に戸惑い、ストレスを抱えている子どもたちが多いという実態が明らかとなり、この結果を踏まえ、子どもたちが新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、生き生きと過ごせるように、子どもの笑顔を増やすための行動様式として、すまいる・あくしょんを策定されました。すまいる・あくしょんは、7つの指標を設け、それぞれの指標について、子どもが自分自身のために行動することと、子どもが必要としていることに対して、大人が行動することの2つの視点が示されています。子ども向けとして、「感染症を正しく知って行動しよう」、「今の気持ちを伝えよう」、「自分も周りの人も大切に」、「頼れる人や場所を見つ

けよう」、「身体を動かしてしっかり遊ぼう」、「わくわく感動する気持ちをもとう」、「オンラインを上手に活かそう」というもので、大人向けとして、「正しい情報を選んで伝える」、「子どもの声を聞いて一緒に考える」、「心と身体の健康を支え思いやりを育む」、「人とのつながりや喜びを感じられる居場所をつくる」、「のびのびと遊び育つための環境を守る」、「文化・芸術・自然・社会に触れる体験を増やす」、「オンラインを活かすための環境を整備する」というものです。コロナ禍、人間の心も荒みがちである中、子どもの笑顔を増やすという、この行動様式を大切に、広めていければと考えているところです。

本日は、報告事項が2件となっておりますが、よろしくお申し上げまして、令和2年高島市教育委員会第10回定例会の開会に当たりましての、挨拶とさせていただきます。

続きまして、令和2年第9回定例会会議録の承認についてお諮りします。

9月28日に開会いたしました令和2年第9回定例会の会議録につきましては、お手元に配付したとおり作成することとし、高島市教育委員会会議規則 第16条第3項の規定に基づき、これを公表することに異議はありませんか。

(異議なし)

(上原教育長)

異議がないようですので、令和2年第9回定例会会議録は、承認を受けたものとして、公表いたします。

続きまして、会議録署名委員を指名します。小多委員、田邊委員、よろしくお願います。

それではこれより、報告事項に入ります。

報告第19号 第79回国民スポーツ大会の開催内定について、説明をお願いします。野崎市民スポーツ課国民スポーツ大会開催準備室長。

(野崎市民スポーツ課国民スポーツ大会開催準備室長)

失礼いたします。それでは、1ページをご覧ください。報告第19号 第79回国民スポーツ大会の開催内定につきまして、ご説明いたします。

令和2年10月8日開催の公益財団法人日本スポーツ協会臨時理事会において、滋賀県が令和7年(2025年)の第79回国民スポーツ大会の開催地として内定されましたのでご報告いたします。

なお、第24回全国障害者スポーツ大会につきましても国民スポーツ大会開催県で開催されることから、令和7年の開催となりますので併せてご報告いたします。

第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会につきましては、令和6年（2024年）に本県で開催される予定でありましたが、今年、鹿児島県で開催予定でありました大会が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となり、10月8日の日本スポーツ協会臨時理事会において、鹿児島大会を令和5年（2023年）に開催し、滋賀県大会を令和7年（2025年）の開催地として内定されました。

本大会の開催時期でございますが、国民スポーツ大会につきましては、令和7年9月中旬から10月中旬までの間の11日間での開催となり、全国障害者スポーツ大会につきましては、原則として国民スポーツ大会の終了後の3日間での開催となります。

本大会における各競技会の円滑な運営を行うために開催いたしますリハーサル大会の開催時期でございますが、国民スポーツ大会につきましては、競技により時期は異なりますが、令和6年度に開催し、全国障害者スポーツ大会につきましては、令和7年の5月から6月頃までの間に開催いたします。

高島市で開催が内定しております競技および会場でございますが、国民スポーツ大会の正式競技につきましては、ウエイトリフティングが安曇川高校体育館での開催、ソフトボールの成年女子が今津総合運動公園グラウンドでの開催、銃剣道が新旭体育館での開催となり、特別競技であります高校野球の軟式が今津スタジアムでの開催となります。全国障害者スポーツ大会につきましては、ソフトボールが今津総合運動公園のグラウンドでの開催となります。

最後に、県民の大会への参加機会を設けるとともに、生涯スポーツの推進を図ることを目的に、県民を対象として開催いたします、デモンストレーションスポーツにつきましては、本市では、従前より開催しております、里湖で地域を結ぶウォーキングをデモンストレーションスポーツとして実施することで内定を受けております。以上でございます。

（上原教育長）

ご意見、ご質問があればよろしく申し上げます。ございませんか。

ないようですので、続きまして、報告第20号 市内小学校の校外行事（サイクリング）における事故の概要について、説明をお願いします。村田学校教育課長。

（村田学校教育課長）

失礼いたします。2ページをご覧ください。報告第20号 市内小学校の校外行事（サイクリング）における事故の概要について、ご報告させていただきます。次のページをご覧ください。

事故の発生日時は、令和2年10月14日14時45分頃です。発生場所は、大津市梅ノ木町、県道麻生古屋梅ノ木線上、そこにあります前川橋から朽木西小学校方向に約680メートルの場所です。事故者は、朽木東小学校の5年生男子児童です。行事の参加者は、5・6年生の児童と、引率の教師、保護者ボランティア、自転車の修理業者、教育委員会事務局職員です。事故の概要ですが、このサイクリングは、総合的な学習の一環として、隔年、一年おきに開催している恒例の行事であり、朽木西小学校で昼食をとった後、走行中の児童はカーブを曲がり切れずガードレールに衝突し、道路から針畑側の川岸に約10メートル転落しました。児童の状況ですが、事故の直後、引率していた教諭が通報し、教諭と保護者ボランティアが川岸を降り、児童のもとに行き様子を見守りました。その時、児童の意識ははっきりしておりました。レスキュー車等が到着し、救出された後はドクターヘリで病院に搬送され、診断の結果、負傷はあったものの症状は軽く、念のために一日入院をすることになりました。翌日の昼頃には退院し、16日は学校を欠席をしましたが、翌週19日以降は元気に登校し、普段どおり過ごせております。

現在、学校では行事の在り方や安全対策等の検証を行っているところでございます。市の教育委員会としましても、検証について指導を行うとともに、各校に行事の際の安全対策・安全確保の徹底について通知を行っておりますし、また、今後検証委員会も開きまして、安全対策のスタッフマニュアル等の作成についても徹底してまいりたいと考えております。また、児童たちの様子を見守るということで、あすくる高島へ心理士によるカウンセリングを依頼しまして、学校で子どもたちの様子を見てもらって、声をかけてもらうよう対応しているところでございます。以上でございます。

(上原教育長)

ご意見、ご質問がありましたらよろしく申し上げます。小多委員。

(小多委員)

自転車の運転について、交通安全協会の方からも色々指導を受けてやっておられるような中で、学校の行事としてサイクリングを企画しておられると思うのですが、保護者等がこれだけおられる中で、事前に、いわゆる練習というのか、そういうのをやっておられるんですね。当然、事故が起こってからでは話にならないんですけれども。保護者のボランティアの方の付き添い、あるいは他の大人がついている、一対一くらい的人数で対応をいただいている中での事故なので、動いている中での、自転車を走行している中での事故ということで、対応は非常に難しいのかなとは思っているのですが、なぜ起こったというのはおかしいかも

しれませんが、事前準備等の対応はどうなっていたのかなと思います。

(上原教育長)

村田学校教育課長。

(村田学校教育課長)

大変ご心配をおかけしており、申し訳ありません。まず、この行事に向けての事前の練習を試走としています。試走では、5・6年生の児童は全員自転車を学校に持ってきまして、学校から朽木の犬野というところまでの往復をしております。また、試走の後は自転車を学校で保管しまして、学校の周りには下り坂等もありますので、児童たちは休み時間等に自転車で走って練習していたというところでございます。

保護者のボランティアの対応ですが、役割分担がどれだけ細かく出来ていたかということをご現在検証しているところでございまして、問題があったところ、こういったところが足りなかったのかというようなことについて、学校とPTAが一緒になって検証し、保護者の方へご報告させていただくということになっておりますので、今、十分なことがお答えできないところでございます。

また、教師の、スタッフのマニュアルにつきましても、同様に検証中でございます。以上でございます。

(上原教育長)

他いかがでしょうか。三矢委員。

(三矢委員)

お子様は、また元気に学校に来てくださっているということでよかったです。今検証をしている最中だということですので。報告書の7番のところ、この安全対策の検証を行っているということなんですけれども、どのようなメンバー、体制で検証委員会というのをされているのでしょうか。

(上原教育長)

村田学校教育課長。

(村田学校教育課長)

当該校の行事の検証につきましては、学校関係者、そこに参加していたボランティアを含め、PTAの役員も一緒になって検証を進めているところでございます。教育委員会からも随時職員が入らせてもらっているというところでございます。

(上原教育長)

三矢委員。

(三矢委員)

検証は本当に大事な作業になるかと思imasるので、しっかりと検証して、公表できる限りにおいては皆に公表もしていただけるとありがたいかなと思います。なぜかというとは体験活動というのは、学習指導要領等にもありますように、今の子どもたちというのは、直接体験が不足しているのが現状でありまして、この事故に限らず、色んなことが起こると、検討した結果、大抵縮小していくというのが世の常というか、多いことではございます。そうではなくて、見直して縮小、ではなくて、やはり子どもたちの体験活動が充実する方向へ。結果的には縮小になったり、形が変わったりするかもしれませんが、子どもたちにとって体験活動が充実する方向で検証していただきたいです。学校関係者のみでは、行き届かなかったことがなかなか見られないものでございます。第三者、自然体験活動の指導員さんであるとか、サイクリング等の専門家であるとか。いつも、学校訪問で寄せてもらったときに、この辺りをサイクリングで回るんですよと教えていただくんですけども、事故が起こった場所は、カーブのある、あの崖のところかなと思っているんですけど、そういった天候・地形に詳しい方とか、一番詳しいのは、地元の方かなと思ったりもします。他には医療関係の方ですとか、色々な方々と野外活動についての検証をしっかりといただいて、今回は朽木東小学校で起こったことなんですけれども、ひいては、自然豊かな市内すべての学校が色々な体験活動をしておりますし、すべてはまた市内の学校に還っていくものだと思いますので、その結果を皆の学校で共有できることは共有して、充実した体験活動が実現しますように、この経験を良い方向に活かしていただけますように、よろしくお願ひしたいなというふうに思います。

(上原教育長)

小多委員。

(小多委員)

この事故があった翌日、マキノ東小学校の方はカヌーの体験教室で。それを一つの教訓といったらおかしいですが、これを機会にということで、15日の朝も保護者のボランティア以外に、学校のファンというのか、学校に子どもがいない大人も出てきて協力しているという形で、十分気を付けようと、その日はちょうど強風注意報が出ていたと思うんですけど、そういう状況の中で、実施するかしないかということで最初はかなり心配しておられたんですけど、するからには皆

できちっとしてという意識固めというか、よい機会にはなったかなと思うんですけども。事故は一つ起こると皆が引き締まると同時に、なぜ起こったのかという見直しはやはり必要かなと思いますので、検証というのも一つの大切な過程になるのかなど。そこも含めてよろしくをお願いします。

先程も少し話に出した交通安全協会ですが、その交通安全子供自転車の大会で、朽木東小学校はいつも表彰を受けておられます。以前の学校訪問でも、子どもたちが気張って練習している現場を見せてもらいましたが、今回の件で縮小にならないように、萎縮しないように、その辺りの指導もよろしくお願ひしたいなと思います。以上です。

(上原教育長)

田邊委員。

(田邊委員)

質問なんですけど、色んな大会をするにあたって、コースの下見、または、ボランティアや保護者の方が直接そのコースを自転車で下見はされないのでしょうか。それはされているのでしょうか。先程、里湖ウォーキングのお話が出ていたんですけども、そういったウォーキングをするときには、大抵役員や携わる者が一度コースの下見をして危険な場所の把握をし、ここは注意するべきというようなことをチェックしたりしています。事前にコースの見回りというか、子どもたちと同じような行動をとり、危険なところとか気を付けなければならないところの事前チェックはされているのでしょうか。

(上原教育長)

村田学校教育課長。

(村田学校教育課長)

事前にコースの下見であるとか、事前のチェックは当然学校でしているんですけど、今回のこの取組の中でそれが十分であったかということについては、検証の中でも反省しなければならない点が出てくると思いますし、先程からもありますように、他の学校の行事・活動に活かせるようにしていかなければならないなと考えております。

(上原教育長)

田邊委員。

(田邊委員)

ありがとうございます。コースのカーブでの事故であったこと、先程小多委員も仰ったように事故の直近の日には強風注意報も出ていたような天候であったということで、もしかするとカーブのところに砂利が出てきていて、その砂利でスリップしたのかなということも思いまして、コースというのはやはりその日その日に変わってきますし、また、今後もこの行事を楽しみにされている方もいると思いますので、コースのチェックだけはこれからも怠らないような形で行っていただければと思います。

(上原教育長)

他にご意見、ご質問ございますか。よろしいですか。ないようですので、続きまして、今後の日程について、事務局から説明をお願いします。上原教育総務課参事。

(事務局、上原参事が内容説明)

(上原教育長)

それでは、以上で本日予定しておりました定例会の内容は、すべて終了しました。これをもちまして本日の定例会を終了します。

定例会終了 午後 1 時 57 分